

【日の出入り・月の出入り表】

2022年 8月

提供:国立天文台

日	日の出	南中時	高度	日の入り	月の出	月の入り	月齢 12:00	備考
	時:分	時:分:秒	度	時:分	時:分	時:分		
1	5:34	12:27:32	74.9	19:21	8:30	21:35	3.4	
2	5:35	12:27:28	74.6	19:20	9:28	22:01	4.4	
3	5:35	12:27:24	74.3	19:19	10:27	22:29	5.4	
4	5:36	12:27:19	74.1	19:18	11:28	22:57	6.4	
5	5:37	12:27:13	73.8	19:17	12:31	23:30	7.4	上弦
6	5:37	12:27:07	73.5	19:16	13:38	--:--	8.4	
7	5:38	12:27:00	73.3	19:16	14:48	0:07	9.4	立秋※1
8	5:39	12:26:52	73	19:15	15:59	0:53	10.4	
9	5:39	12:26:44	72.7	19:14	17:08	1:48	11.4	
10	5:40	12:26:35	72.4	19:13	18:09	2:53	12.4	
11	5:41	12:26:26	72.1	19:12	19:01	4:06	13.4	山の日 天王星西矩※2
12	5:41	12:26:16	71.8	19:11	19:45	5:21	14.4	満月
13	5:42	12:26:06	71.5	19:10	20:22	6:35	15.4	ペルセウス座流星群が極大
14	5:43	12:25:55	71.2	19:08	20:54	7:45	16.4	
15	5:44	12:25:43	70.9	19:07	21:24	8:51	17.4	土星衝※3
16	5:44	12:25:31	70.6	19:06	21:52	9:55	18.4	
17	5:45	12:25:18	70.3	19:05	22:21	10:57	19.4	
18	5:46	12:25:05	69.9	19:04	22:52	11:58	20.4	
19	5:46	12:24:52	69.6	19:03	23:26	12:58	21.4	下弦
20	5:47	12:24:38	69.3	19:02	--:--	13:57	22.4	
21	5:48	12:24:23	69	19:01	0:05	14:55	23.4	
22	5:48	12:24:08	68.6	18:59	0:48	15:49	24.4	
23	5:49	12:23:53	68.3	18:58	1:37	16:39	25.4	処暑※4
24	5:50	12:23:37	68	18:57	2:30	17:24	26.4	
25	5:50	12:23:21	67.6	18:56	3:27	18:03	27.4	天王星留※5
26	5:51	12:23:04	67.3	18:55	4:25	18:38	28.4	
27	5:52	12:22:47	66.9	18:53	5:25	19:09	29.4	新月 火星西矩
28	5:52	12:22:30	66.6	18:52	6:24	19:38	0.8	水星東方最大離角※6
29	5:53	12:22:12	66.2	18:51	7:23	20:05	1.8	
30	5:54	12:21:54	65.9	18:50	8:22	20:32	2.8	
31	5:54	12:21:36	65.5	18:48	9:22	21:00	3.8	

* 佐世保市(東経129° 43', 北緯33° 10')を基準に計算しています。出入り時刻は地平線での時刻とお考えください。

* 月の出、月の入りが起こらない日があります。月齢は12時で計算しています。

※1 二十四節季の一つ 意味: 秋の気配が感じられる。

※2 火星・木星・土星などの外惑星が、地球から見て太陽と直角方向にある時を「矩(く)」といいます。西矩(せいく)の頃は明け方、東矩(とうく)の頃は夕方に外惑星が南中します。(矩は「さしがね」の意味です)

※3 天体が地球からみて太陽の方向にあるのを「合」、反対方向にあるのを「衝」といいます。外惑星の場合は、「合」のとき地球から最も遠くなり「衝」の時最も近くなります。(最も大きく見えます) 内惑星(水星と金星)の場合は、太陽よりも遠い位置にある「外合」と、太陽より近い位置にある「内合」があります。

※4 二十四節季の一つ 意味: 暑さがおさまるころ。

※5 惑星は、通常天球上の恒星の中を西から東へとゆっくり移動(順行)していきように見えますが、時に東から西へ移動(逆行)することがあります。その移動の方向が変わる瞬間を「留」と言います。その後、再び西から東へ移動するようになる瞬間にも「留」とな

※6 最大離角は、地球から見た太陽と内惑星(水星、金星)との角距離が最大となる瞬間です。地球から見て内惑星が太陽の東側にあるときを東方最大離角(とうほうさいだいいりかく)、太陽の西側にあるときを西方最大離角(せいほうさいだいいりかく)といいます。東方最大離角のころは夕方西の空、西方最大離角のころは明け方東の空にあり、観望の好機となります。